

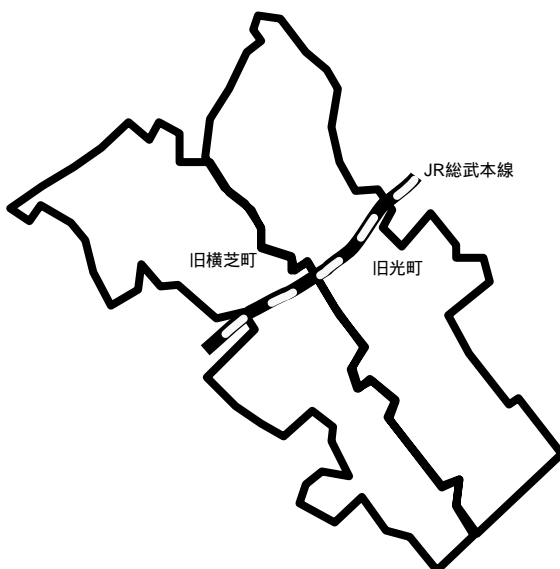
## 1 1 横芝光町

(山武郡横芝町・匝瑳郡光町の合併)



町章

横芝光町の「よ(横芝)」「ひ(光)」をモチーフに、九十九里浜と太平洋、緑溢れる新町を組み合わせ、全体で新町建設に躍動する町民を描き「栗山川の流れがはぐくむ人・自然・文化が共生するまち」をデザインしました。(横芝光町ホームページより)  
巻末差込の別紙にカラー版あり。



### (1) 概況

合併方式 新設方式(山武郡横芝町、匝瑳郡光町を廃し、その区域をもって山武郡横芝光町を設置する)

合併期日 平成 18 年 3 月 27 日

事務所の位置 山武郡横芝光町宮川 11902

人口 25,934 人(平成 18 年 3 月 1 日現在常住人口)

面積 66.91 k m<sup>2</sup>

初代町長 佐藤晴彦

初代議長 伊藤良一

議員定数 18 人

#### 位置・地勢等

横芝光町は、千葉県北東部に位置し、東京都心から約 70km、千葉市から約 40km、成田国際空港からは約 20km の距離にあります。

形状は東西約 5km、南北約 14km と南北に細長く、面積は 66.91 平方キロメートルで、北は香取郡多古町と山武郡芝山町、東は匝瑳市、西は山武市に接し、南は白砂青松の続く九十九里浜が広がり、太平洋に面しています。

地勢は、中央部から南部にかけては平坦地が続き、北部は緩やかな丘陵地帯を形成しています。また、かつて上総、下総の国境でもあった、九十九里平野における最大の河川栗

山川が、中央部を北から南に向けて流れています。

黒潮の影響を受ける気候は、年平均気温は 15 度、年間降水量は 1,300mm 程度で、夏涼しく冬暖かい海洋性気候となっています。(横芝光町ホームページより)

## (2) 合併の背景等

(合併申請書添付書類「5. 合併(廃置分合)を必要とした理由」より抜粋)

### 5. 合併(廃置分合)を必要とした理由

#### 合併(廃置分合)の背景

(略)

#### 各観点からの合併(廃置分合)の必要性

##### (1) 多様化・高度化する住民ニーズへの対応

個人の価値観・生活様式の多様化や IT(情報通信技術)などの技術革新の進展、地球規模での環境問題や国際化の進展などに伴い、地域住民の行政に対する要望も多様化・高度化しています。両町においても、働く女性の増加に伴う子育て支援や、生涯学習プログラムの多様化など、住民一人一人の要望に合わせた、きめ細かな対応が求められています。

こうした変化に対応するために、合併により専門性の高い人材の確保・育成と組織体制の構築を進め、様々な要望に応えられる柔軟な施策展開を図ることが必要です。

##### (2) 少子高齢化・人口減少社会への対応

全国的に少子高齢化が進行する中、両町の年少人口(15歳未満)比率は年々低下する一方、老年人口(65歳以上)比率は国・県の比率を大きく上回っています。さらに近年は、総人口が減少に転じつつあります。

そのため、今後はまちの活力の低下とともに、子育て支援、高齢者の健康づくりや福祉施策など、医療・福祉サービスに対する町の財政負担や個人負担の増大が懸念されます。

こうした課題に対応するためには、合併により財政の強化や地域の人材の育成に努め、効果的な地域振興や高齢者福祉に積極的に取り組むなど、少子高齢化・人口減少型社会に対応したまちづくりが重要になります。

##### (3) 日常生活圏の広域化への対応

車社会の進展、さらには IT(情報通信技術)の発達などにより、通勤・通学や、レジャー活動など、人々の行動範囲は拡大しています。両町においても成田国際空港の平行滑走路運用開始に加え、横芝駅に停車する特急列車の増便や銚子連絡道路の着工など、広域交通網の整備が進められています。

また、住民アンケート調査(横芝町・光町の将来のまちづくりについての調査)によれば、

買い物や病院・図書館の利用などにおいて、両町住民の行動範囲が重なり合う傾向がみられ、両地域が一体的な日常生活圏として結ばれている様子が伺えます。

このように、人々の行動範囲は現在の町域の枠内には納まりきらなくなっており、合併によって日常生活圏に見合った公共的施設の適正な配置を推進するなど、質の高い住民サービスの実現が求められます。

#### (4) 国・地方自治体における厳しい財政事情への対応

現在、長引く景気低迷のもとで、国や地方自治体の財政は極めて厳しい状況にあります。両町でも財政基盤の強さを示す財政力指数は県内市町村の平均値を下回り、財源の多くを地方交付税などの依存財源に頼っています。こうした中、政府は地方税財政制度改革（三位一体改革）における柱の一つとして地方交付税の削減・見直し、国庫補助負担金制度の改革を検討しており、税収の落ち込みもあって、限られた財源を用いてサービスの維持・向上を図ることが大きな課題となっています。

そのため、合併によりコスト削減や行政運営の効率化を図り、少ない費用で大きな効果を生み出すことのできる行財政基盤を確立する必要があります。

#### (5) 地方分権の推進への対応

近年、地域社会の多様性が重視されはじめ、全国画一的な公共サービスの提供を見直し、地域の特性に応じた個性豊かなまちづくりが求められるようになってきています。平成 12 年 4 月には「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律(地方分権一括法)」が施行されるなど、自己決定・自己責任の原則に基づく地方分権への環境が整備されつつあります。

このように、今後の市町村はもっとも身近な行政機関として、自ら政策を立案する能力を高め、住民とのコミュニケーションを図りながら、積極的にまちづくりに取り組んでいくことが求められます。そのためには、合併による行政能力の向上を図り、地方分権時代に適切に対応できる体制を築いていくことが重要です。

### (3) 合併の経緯等

平成 15 年

4 月 1 日 八日市場市・光町・野栄町合併協議会設置

平成 16 年

3 月 6 日 光町において合併住民説明会を開催

~ 7 日

3 月 12 日 光町が合併住民説明会、議会の意向を受け、これまで進めてきた八日市場市・光町・野栄町合併協議会からの離脱を決断

- 3月15日 光町長、光町議会正副議長が横芝町を訪問し、2町での合併を申入れ
- 3月18日 横芝町議会全員協議会が行われ、光町との合併を進める方向で合意
- 4月3日 横芝町において合併住民座談会を開催  
~4日
- 4月5日 横芝町長、横芝町議会正副議長が光町を訪問し、協議の上、合併を進めることを合意
- 4月7日 横芝町、光町において議会全員協議会が行われ、横芝町・光町合併準備会を設置することで合意
- 4月14日 横芝町・光町合併準備会が発足  
首長、助役、正副議長を含む総勢16名で構成
- 4月22日 第2回横芝町・光町合併準備会で法定協議会設置に向け、合併に関する基本方針や合併協議会規約案、予算案など協議が行われ、全てが整い合意
- 4月27日 横芝町議会、光町議会において、法定協議会設置議案の議決
- 5月1日 横芝町・光町合併協議会設置
- 6月11日 住民意識調査を横芝町及び光町に居住する16歳以上の住民4,000人(各2,000  
~6月21日 人)に実施
- 6月22日 第3回合併協議会  
・合併の方式を承認  
・新町の事務所の位置を承認
- 6月30日 横芝町、光町が県に合併重点支援地域の指定を要請
- 7月1日 県が横芝町、光町を合併重点支援地域に指定
- 8月24日 第5回合併協議会  
・合併の期日を承認
- 9月21日 第6回合併協議会  
・新町の名称を承認
- 12月21日 合併住民説明会(新町建設計画素案、事務事業の調整方針)を横芝町3会場、  
~26日 光町4会場で開催
- 平成17年
- 1月21日 第10回合併協議会  
・新町建設計画を承認
- 2月8日 合併協定書調印(横芝町文化会館)
- 2月16日 横芝町議会、光町議会において合併議案の議決
- 2月18日 横芝町長、光町長が県知事に合併申請書を提出
- 4月6日 県議会において、横芝町、光町の合併議案の議決

4月12日 横芝町、光町の合併を県知事が決定、県知事から総務大臣に届出  
5月13日 総務大臣による合併の告示  
平成18年  
3月27日 合併

#### (4) 合併の特徴

##### 庁舎の位置

光町役場（横芝町役場は分庁）

##### 議会議員の取扱い

在任特例適用（期間：平成19年4月30日まで。定数31人）

期間終了後の定数及び選挙区：18人。選挙区は設けない。

##### 農業委員会の取扱い

在任特例適用（期間：合併の日から1年間。定数34人）

期間終了後の定数及び選挙区：16人。選挙区を設ける（4選挙区）。

##### 地方税の取扱い

2町で差異のある税制等について、次のとおり取り扱う。

- ・個人町民税の普通徴収、固定資産税の納期は、合併する年度の翌年度から統一する。
- ・法人町民税の法人税割の税率は、合併する年度の翌年度から地方税法に規定する標準税率（12.3%）に統一する。ただし、合併する年度は、それぞれ現行の税率とする。

##### 地域自治組織

設置しない。

##### 合併後の住居表示

- ・山武郡横芝町 山武郡横芝光町 （大字は変更なし）
- ・匝瑳郡光町 山武郡横芝光町 （大字は一部変更あり）

『両国新田』が『芝崎南（しばさきみなみ）』に変更

#### (5) 合併関係市町村の概況

##### 横芝町

人口 14,115人（平成18年3月1日現在常住人口）

面積 33.60 km<sup>2</sup>

沿革 昭和30年2月1日合体 横芝町、大総村、上堺村

町長 伊藤齊紀（合併時）

議長 八角健一（合併時）  
 議員定数 16人（合併時）  
 職員数 135人 うち一般行政職 87人（平成17年4月1日）  
 財政規模 普通会計歳出合計 5,719,391千円（平成16年度決算）  
 光町  
 人口 11,819人（平成18年3月1日現在常住人口）  
 面積 33.31 k m<sup>2</sup>  
 沿革 昭和29年5月3日合体 白浜村、日吉村、南条村、東陽村  
 町長 斉藤譲（合併時）  
 議長 川島勝美（合併時）  
 議員定数 15人（合併時）  
 職員数 126人 うち一般行政職 91人（平成17年4月1日）  
 財政規模 普通会計歳出合計 4,477,191千円（平成16年度決算）



旧光町役場（現横芝光町役場）



旧横芝町役場（平成20年3月31日廃止）



ショッピングセンター内に設置された町民サービスセンター